

教科	科目	単位数	学年	集団
地歴	世界史探究	1 期間履修	2	総合探究科文系(選択)

使用教科書	副教材等
詳説世界史 (山川出版社) 地歴高等地図 -現代世界とその歴史的背景- (帝国書院)	ニューステージ世界史詳覧 (浜島書店) 世界史用語集 (山川出版社) 一問一答世界史 (山川出版社)、新世界史研究ノート応用編 (啓隆社)

科目の目標
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	世界の歴史について基本的な事項を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。
②思考・判断・表現	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代社会の特質を多面的・多角的に考察し国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしている。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 定期試験、小テスト ・思考・判断・表現 ワークシート、ノート、定期試験、小テスト ・主体的に学習に取り組む態度 課題や提出物への取り組み状況、ペア活動やグループ活動の姿勢、授業への取り組み状況 	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
12	世界史へのまなざし1	地球環境からみる人類の歴史	人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を主体的に考察し、表現することができる。	○	○	○
	世界史へのまなざし2	日常生活からみる世界の歴史	私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を主体的に考察し、表現することができる。	○	○	○
1	第1部 諸地域の歴史的特質 第1章 文明の成立と古代文明の特質の形成	1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明	オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連など着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを主体的に多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	○
		1 中央ユーラシア-草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	秦漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向、それらを基盤とした国家の形成などを基に、東アジアと中央ユーラシア、の歴史的特質を理解する。唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係、などを主体的に多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	○
2	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界					

2	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開 	仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを主体的に多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	○
3	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	<ul style="list-style-type: none"> 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 	西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とこれを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とこれを基盤とした国家の特徴などを主体的に多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	○